

# プラタナス

那須赤十字病院 広報誌

No. 10

平成27年7月発行

Japanese Red Cross Nasu Hospital

 日本赤十字社  
Japanese Red Cross Society

那須赤十字病院



第1回パーソナルセンター同窓会

看護部長紹介

高橋看護部長にインタビュー

登録医紹介

医療法人慈仁会 飯塚医院

診療科紹介

小児科について

看護師紹介

小児科病棟(NICU・GCU)

マイタウン・マイホスピタル  
ミニニュース

ボランティア紹介

新任医師紹介

# 「マイタウン・マイホスピタル」 地域密着型を目指します

平成27年4月、新看護部長に高橋美知子看護師が就任し、  
3ヶ月が経ちました。  
今の心境をインタビューしました。



高橋看護部長

## 高橋美知子看護部長にインタビュー

### ① 看護師になった きっかけは何ですか？

私は、最初養護教員になりたかったんです。看護師の資格と保健師の資格をとり、その後養護教諭を目指そうと思って看護学校に入学しました。入学後、看護の勉強をしたり、臨床実習で患者さんやいろいろな方々と接していく中で、看護の魅力やすばらしさを感じました。「こんな私でも、人のためにできることがあるんだな」と自分の存在意義や役割を感じるようになりました。そして、看護師になりたいと強く思うようになりました。

### ② 看護師人生で一番の思い出は？

いろいろな人たちにめぐり会えたことです。患者さん達や先輩達、その方たちと出会った経験が、今の自分のあり方の元になっっていると思います。  
周りの方たちに教えてもらったことが大きな宝ですね。社会人としての心得、知

識、技術、そして看護の素晴らしさやおもしろさなど、多くのことを学ばせてもらったと思います。

倉内元看護部長をはじめ歴代の看護部長や看護師長から刺激を受けました。「この方、いつもと違うけどどうされたのかな」とか「これじゃ辛いかな」とか。そんなふうに、自分自身の「感性を育む」とや、他者に関心を持つ「大切さを学びました。

### ③ どういった看護師を 育てていきたいですか？

「やさしく、思いやりのある看護師」を育てたいですね。また、「自分の役割を果たすために努力できる看護師」、「自己研鑽できる看護師」を育てたいです。

### ④ 看護部長になって 一番やりたいことはなんですか？

チーム力を強化していきたいと考えています。

当院は平成24年7月に新病院をスタートさせました。それまで、新病院の構想や移転という目標に向かって、職員が一丸となって取り組んできました。そのときに、みんなが集結したときの力はすごいと感じました。職員が同じ目標に向かって進んでいくのは楽しいし、達成感も共有できます。これから、どんなことでも達成できるような気がしてくる。楽しみではないですか。

「質の高い医療の提供」が私達の目標です。この目標に向かって、看護部はもちろん多職種と共に行っている課題に取り組んでいきたいです。

当院の基本理念でもあります「マイタウン・マイホスピタル」地域密着型を目指します。住民の方、保健・医療・福祉の方との連携を強化し、地域に貢献できるよう努力したいと考えています。

これからも宜しくお願いいたします。

診療所の先生方はみなさんの健康を支えてくれる心強いパートナー。こちらのコーナーでは日々当院と連携いただいている診療所の先生を紹介していきます。今回は「医療法人慈仁会 飯塚医院」をご紹介します。



木村 透院長

**医療法人慈仁会 飯塚医院**  
 対象疾患 内科・皮膚科・小児科  
 得意分野 消化器内科

## 先生にインタビュー

当院との医療連携について期待されていることはどのようなことですか？

この地で診療を始めてから25年ほどになります。お年寄りから乳幼児まで専門外の病気の方も来院されます。

当初は、来院された患者さんの中に、専門的な治療が必要と思われる方がいて、いろいろな病院に診察依頼をしてもスムーズにいかないこともありましたが、日赤の地域医療連携室ができてからは、連携がスムーズになり安心して紹介できる状態で、大変感謝しております。また、先生方の紹介患者さんの返事が大変丁寧で、勉強になっており、感謝しています。

最近、日赤から当院に在宅医療の紹介もあります。なるべく円滑に受け入れることができるよう努力していきたいと思っています。

これからもこのような連携が円滑にいきますよう希望します。

毎日忙しいと思いますが、休日はどう過ごされていますか？

妻とドライブ、美術館めぐりなどしています。

最後に地域の方々、患者さんへ一言をお願いします。

ちょっと体の具合が悪いとき、健康診断で異常を指摘された時など気軽に相談できる医師（かかりつけ医）を持っていることをお勧めします。かかりつけ医に受診し、相談してください。診察する中でもっと専門的に検査した方が良い場合は、那須赤十字病院など専門の医師がいるところに紹介いたします。治療が落ち着いたところで、受診し易いかかりつけ医に戻ることが自然の流れだと思います。このような流れの中で、健康な体をつくり、それを維持していくことが必要と考えます。

### 基本情報



医療法人慈仁会 飯塚医院

- 院長  
木村 透(きむら とおる)
- 住所  
那須郡那珂川町馬頭484-3
- 電話  
0287-92-2034
- 診療科目  
内科、小児科、皮膚科
- 休診日  
日曜日・祝日・木曜日午後

# 子どもたちの笑顔のために 頑張っています。



後列左から 新田部長、田村医師、福田副部長  
前列左から 小川医師、加藤医師、渡部医師

## 小児科について

4月から小児科医が一人増員となり、6人体制になりました。これまで以上に充実したFamily centered care(患児・家族中心のケア)を目指してまいります。当科の役割は①外来で治療困難な急性疾患の入院治療②新生児医療③小児救急医療の3点です。まず、①の急性疾患の入院治療です

が、予防接種数の増加により、重い病気にかかる児が減ってきています。しかし、予防接種がない病気はまだ多数あり、入院が必要となることもあります。当院は完全看護体制のため、付き添いなしで入院治療ができます。また、付き添いをご希望なされる場合は個室での入院をお勧めしています。

次に②の新生児医療ですが、当院の分娩数は急増しており、昨年1年間の分娩数は835件となりました。このため、厚労省認可NICUを開設します。厚労省認可NICUは、小児科医師が24時間院内に常駐し、NICU3床に対して看護師1名、発育支援室(GCU)6床に対して看護師1名が常時配置される必要があります。また、医

### 第一小児科部長 新田 晃久

療設備が整っていることも認可の条件となります。

最後に③の小児救急医療ですが、休日夜間の一次救急(発熱などの軽い病気)は、まず在宅当番医もしくは当院に併設されている那須地区夜間急患診療所をご利用下さい。那須地区夜間急患診療所は那須郡市医師会が運営しており、当院とは別の医療機関です。地域医療に熱心である医師会の先生が当番制で診療を担当されています。一次救急施設で二次救急(入院治療が必要な重い病気)であると判断された場合、二次救急輪番病院(国際医療福祉大学病院)もしくは当院へご紹介いただくことになります。一次救急施設の診療時間外で当院へ受診を希望される場合、必ず事前に電話でご相談下さい。事前連絡がない場合、診療をお断りすることがあります。小児救急医療がコンビニ受診と言われてから、すでに四半世紀以上が経過しています。地域力で小児救急医療を維持できるよう、是非ご協力下さい。



4階東病棟 (NICU・GCU) スタッフ

# 小児科病棟 (NICU・GCU)

新生児集中ケア認定看護師 松本 麻依

## 新生児部門について

NICU (Neonatal Intensive Care Unit) では、予定より早く生まれた小さな赤ちゃんや先天性の病気をもって生まれてきた赤ちゃんへの集中治療とケアを行っています。

GCU (Growing Care Unit) では、状態が安定し回復期にある赤ちゃんへの継続保育と、退院に向けたケアを行っています。

当院は、地域周産期母子医療センターとしての役割を担い、分娩件数の増加に伴いNICUが開設となります。

## 新生児看護で大切にしていること

新生児集中ケア認定看護師である私の役割は、このような重篤な病気をもち赤ちゃんへの専門的看護と、発達を促進するための支援を行っていくことです。中でも大切にしていることは、赤ちゃんが落ち着いて過ごせる快適な環境を提供していくことです。集中治療を受けている赤ちゃんは、私達が想像する以上に「快」「不快」を敏感に感じ取っています。子宮内での温かく静かな環境と近い空間を作り、成長と発達を見守っていくことは、とても大切であると考えています。

新生児看護においてももうひとつ重要な

ことは、家族への支援です。『ファミリーセントードケア』という言葉があります。つまり、家族中心の看護です。NICUに入院となった家族は、不安やストレスが多く、時には自分を責めるなど心理的にも不安定な状況になることが予想されます。その思いを表出できるような関わりはもちろんです。そのような状況を克服し自らの力で家族を発展させていけることができるように、励まし支えていくことが重要です。生まれてすぐに赤ちゃんが家族が離れてしまっても、親と子が触れ合う時間をもつことで愛着が促され、親であることへの自覚と自信につながっていくのです。こうした時間や関わりへの方法を組み合わせ、医療スタッフ間で話し合いをもちながら、健やかな成長を遂げられるように日々看護を行っています。

## 最後に

赤ちゃんには個性があります。ひとりひとりに向き合うこと、また家族支援を充実させていきながら今後も新生児医療に携わっていきたいと思います。



NICU

## 5月 ふれあい看護体験

### 45名の高校生が参加/5月16日(土)

毎年恒例のふれあい看護体験が、栃木県北の高校生45名の参加のもと、本年度も開催されました。病院長から委嘱状が渡され、病棟での看護体験、先輩看護師の体験談、記念写真撮影と盛りだくさんの内容となりました。

今回の病院の職場体験が生徒たちの将来の夢につながることを期待しております。



北島院長より一日体験委託状が渡されました。

## 病診連携懇談会

### 40施設の病院・診療所が参加/5月28日(木)

当院では、病診(病院と診療所)・病病(病院と病院)連携を積極的に行っており\*1「かかりつけ医」を推進しております。

このたびその一環として、当院マイタウンホールにて地域の先生方との連絡会と懇親会を行いました。

これからも当院は診療所のみならずとの連携を大切に地域に貢献できるよう努力していきます。



懇親会の様子。沢山の方が出席し大盛況となりました。

## 車椅子6台が寄贈

### (株)ヤナセ100周年記念事業/5月28日(木)

株式会社ヤナセより、同社の創立100周年を記念し、全国の赤十字医療施設に「医療介護用車両」や「車椅子」が寄贈されました。当院には「車椅子」が6台寄贈され、同社の宇都宮支店長が来訪し贈呈が行われました。いただいた車椅子は、外来・病棟で大切に使用いたします。



ヤナセ 青木宇都宮支店長(左)から加藤事務部長(右)へ目録贈呈

## 6月 野外救護訓練

### 53名の新人職員が参加/6月4日(木)

蛇尾川緑地公園にて日本赤十字社栃木県支部と、当院救護班参加のもと、総勢75名で訓練が実施されました。

この訓練は新人職員の救護への意識付けを目的として毎年実施しております。基礎行動、簡易ベットやパイプテントの組み立て、ストレッチャーの使用と、朝から夕方まで訓練に勤しみました。



パイプテントの組立説明を受ける新人職員

## 那須赤十字病院後援会

### 役員会・総会・懇親会/6月29日(月)

勝田屋記念会館にて、17時から当院後援会の総会が開催されました。

約80名の会員の方々にご参加いただき、その後の懇親会も大盛況でした。

昨年度同様、新規会員募集の広報活動に力を注ぐ所存です。



後援会総会のようす。

\*1「かかりつけ医」 病気になったときの初期の医療や日頃の健康に不安を感じた時に相談できる身近な診療所などの医師のこと。

那須赤十字病院 ボランティア会 **個人ボランティア紹介**  
**ウォッシュクロス(タオル)裁断 笠間 イシ子 さん**



タオルの裁断



日本赤十字社の表彰 銀色有功章(H23.11.16)  
 ※銀色有功章(社費・寄付金の累計額が20万円以上に達したとき)

笠間イシ子さんは、今年で92歳になります。いつも穏やかな方ですが自分の事は自分でと、病院へ来るのにも市営バスを利用していらっしゃる芯の強い方です。現在、入院患者さんのケア等に使用するウォッシュクロス作成のため、ご自宅でタオルをハンカチ位の大きさに裁断して下さっています。多いときには、1ケ月にダンボール4箱分のウォッシュクロスをいただいております。

笠間さんは、32年間色々なボランティア活動を、毎日コツコツと自分のペースで活動をしており、私たちにも見習うところが大いにあります。笠間さんの地道なボランティアに感謝いたします。また、日本赤十字社の活動にご理解いただき、活動資金のご協力をいただき、併せて感謝申し上げます。

**Q ボランティアをいつ、どんな理由ではじめましたか？**

**A** 昭和60年に会社を退職してから、人のためになることをしたいと思い、大田原市のボランティア基礎講座を受講しました。その後、大田原市の保育ボランティアを行い、平成9年旧大田原赤十字病院でタオル裁断のボランティアを始めてから、現在に至ります。

**Q 趣味と楽しみは？**

**A** 月に1度、第3木曜日に大田原図書館で、「読もう会」という読書会に参加しております。また、新聞を毎日欠かさず読むこと。そして、毎晩一杯の晩酌を楽しみにしています。

**Q ボランティアを始めようとしている方、  
また、現在ボランティア活動をしている方に、一言お願いします。**

**A** ボランティアは人のためにもなるし、自分のためにもなります。無理せず、自分のペースで長く続けてほしいです。

新任医師紹介

**「わたしたちが皆さんの健康をサポートします！」**  
**7月から那須赤十字病院で働く先生を紹介いたします。**



産婦人科  
飯野孝太郎



整形外科  
瀬戸 貴之



脳神経外科  
第三脳神経外科部長 黒川 龍



泌尿器科  
泌尿器科部長 貫井 昭徳

# 献血に行こう!

## 「血液を確実にお届けするために」

～あなたの善意が患者さんの尊い生命を救います～

日時：平成27年8月31日(月)10:00～16:00(12時前後から1時間程度休憩をとらせていただきます)

場所：那須赤十字病院 時間外入口付近(献血バス)

問合せ：那須赤十字病院 社会課 ☎0287-23-1122(代)

400ml献血のご協力をお願いします。

### がんのつどい

平成27年8月1日(土)

10:00～11:00

那須赤十字病院会議室1・2

#### 食事のこと

アドバイザー：管理栄養士

五味淵 瑞貴

平成27年9月5日(土)

10:00～11:00

那須赤十字病院会議室1・2

#### 医師とのかかわり方

アドバイザー：第一外科部長 田村 光

※申込不要。直接お越しください。

### 第2回那須赤十字病院講演会 ～がん患者さんの就労支援～

日時：平成27年10月3日(土) 14:00～16:00

会場：那須赤十字病院 2階マイタウンホール

体験談：「肺がん3回、人生をあきらめない！」

ピアサポート那須 並木 邦憲 会長

講演：「がんと仕事と暮らし

～知っておきたい仕事とお金に関する制度～」

社会保険労務士・キャリアカウンセラー 近藤 明美 先生

申込先・問合せ：担当(入田) ☎0287-231122(代)



### 編集後記

これから夏になります。夏祭り・花火大会など様々な楽しいイベントも多く開催されることでしょう。熱中症になって夏の思い出を台無しにしないように、水分補給をこまめに行いましょう!

人事課 植木

### 本誌へのご意見・ご感想をお聞かせください!

抽選で3名様に「CroKuma救護服」「CroKumaナース」「赤十字マグカップ」をプレゼントいたします。

以下の項目を明記のうえ、郵送・FAX・メールにてご応募ください。

#### ●応募先

郵送/ 〒324-8686 大田原市中田原1081-4

那須赤十字病院 総務課 プラタなす第10号 プレゼント係

FAX/ 0287-23-3004

宛先[総務課 プラタなす第10号 プレゼント係]

メール/nrchp@nasu.jrc.or.jp

件名「プラタなす第10号 プレゼント係」

●応募締切り 2015年9月30日(水)

※当選者の発表はプレゼントの発送をもって代えさせていただきます。



### マイタウンまつり2015

平成27年10月24日(土)開催決定

会場：那須赤十字病院

詳細は決まり次第HP等でお知らせします。

### 今回の表紙

#### 第1回バースセンター同窓会開催

6月7日(日)、出産当手を振り返ることで育児の励みにしてもらおうと、第1回目となるバースセンター同窓会が開催されました。

この日は55家族約160人が参加し、出産を担当した助産師たちと再び顔を合わせて子どもや自分の近況報告をしたり、出産時のスライドショーを見たりしました。

バースセンターは助産師が中心となって妊婦が安心して出産できるようサポートする産科施設で、2012年7月、那須赤十字病院の移転開院とともにスタートしました。

### 那須赤十字病院

#### 基本理念

マイタウン・マイホスピタル  
～地域に根ざし、ともに歩み、心ふれあう病院に～

#### 基本方針

1. 赤十字基本原則に則り、地域のための医療を提供します。
2. 患者さまの立場を尊重し、患者さまに信頼される病院をつくりたい。
3. 日々の研鑽を惜みず、医療の質の向上に努めます。
4. 保健・医療・福祉施設との連携を密にし、地域医療の発展につとめます。

### プラタなす 那須赤十字病院広報誌プラタなす No.10

発行日 2015年7月

発行者 那須赤十字病院 〒324-8686 大田原市中田原1081番地4

TEL 0287-23-1122 FAX 0287-23-3004

URL <http://www.nasu.jrc.or.jp> 印刷 株式会社 松井ビ・テ・オ・印刷